

総務文教委員会行政視察報告

【視察日】 平成27年11月9日（月）～10日（火）

【視察委員】 杉山猛志委員長、松寿周一副委員長、池田博委員、水野明委員
岡村好男委員、大石信生委員、西原明美委員、遠藤久仁雄委員

【視察先】 北海道 恵庭市

【調査事項】 恵庭市との都市間交流について

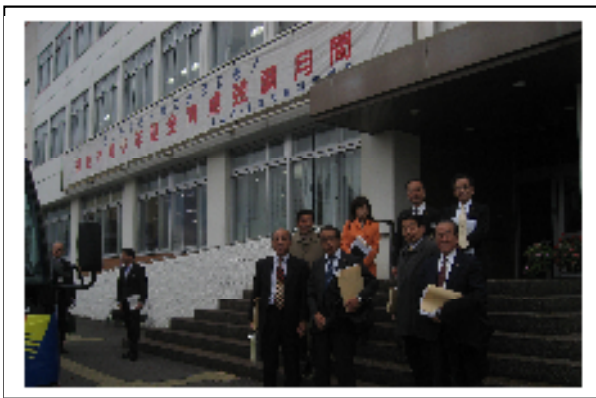
（恵庭市の概要について、特徴的な施策について 他）

【調査概要】

1) 恵庭市の概要

人口約6万9千人、面積294.65k㎡。

昭和45年に道内31番目の市政を施行し、交通関係ではJR快速で札幌まで23分、新千歳空港までは13分というアクセスとなっている。面積の23%程度が自衛隊基地3箇所占めている。工業団地はJR路線近くに8箇所が造営されており、現在までに220社が進出してきているものの、今後は新たな工業団地の開発が課題とのことである。



恵庭市役所前



会議室風景

2) 内容（産業・まちづくり等）

- ①農業は、寒冷地稲作発祥地のお米、道内トップクラスの優良牛の生産地、花苗や野菜の収益性は高く盛んとなっている。農家人口は年々減っているが、農地の大規模化・機械化による省力化が進んでいる。また、農畜産物直売所は、180万円/日 来場者1,381人の来場者があり、省力化等により所得増に繋がってやる気のある農家の励みになっている。
- ②商業においては中小企業振興基本計画を策定中であり、商業の安定化に力を入れている。気になるところでは、平成26年に恵み野商店会と市の連携で、駐車帯・歩道・植樹帯の維持管理協定を締結した。現地視察したが、計画的に作られておりすばらしいものである。
- ③工業は、計画された工業団地は全て完売されており、現在は民間所有の未創業地を紹介している状況で計画的に進めている。
- ④花をコンセプトにした“花のまちづくりプラン”を作成している。商店街や企業の取り組みもあり、また、一般家庭のオープンガーデンの取り組みもあり、市民に広く浸透している。その背景には、花卉生産者の取り組みもはなのまち恵庭市のまちづくりに一役買っている。

3) 本市との都市間交流に向けての考察

<11月9日(1日目)>

- ①街路樹・花壇・道路帯・駐車帯など計画的にトータルで道路行政を考えているので、当市も藤枝市ならではのトータル的な道路行政を進めるべきと感じた。
- ②今後は本市の花の会をはじめとする各種団体に恵庭市を訪問していただき、そのまちづくりに触れ、本市に持ち帰っていただく事で、花回廊事業がより市民参加のもとで運営できると考える。



恵庭市内(道路整備)



恵庭市内(道路整備工事現場)

- ③子供支援施設(フーレめぐみの)は、「子育て支援センター」と「子ども広場事業」の2つの柱でやっている。規模の割には2,000万円という少ない指定管理料でその他収入は求めない中、市民参画で運営している。小学生を参画させて子育て支援のしくみづくりを構築すべきと感じた。
- ④「フーレめぐみの」の指定管理者である学校法人の存在は、恵庭市にとって大きく影響している。この学校法人慈恵学園グループのサテライト教室として藤枝に設置する事が出来れば藤枝にとってかなりのインパクトとなる。



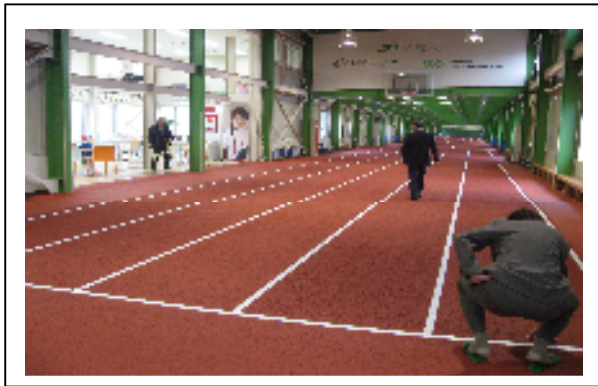
フーレめぐみの

- ⑤企業のスフェラーパワー(株)という球型太陽電池の最先端企業を見学した。手作業で物づくりをする部門もあり、恵庭市の企業誘致の幅の広さを感じた。

<11月10日(2日目)>

- ①図書館は「恵庭まちじゅう図書館」として、各商店・お寺・認定こども園・プールなど、まちじゅうに小さな図書館として本を置いている。また、市立図書館と学校図書館のオンライン化で予約の翌日に巡回車が学校を回り図書の配送をしてくれるシステムや高齢者対象の「図書宅配サービス」の実施等、市民の図書文化に対するレベルが高く、図書行政に関心が高いことを物語っている。当市も参考にされたい。
- ②「人と街を育む読書条例」でまちづくりをということで文化教育の基礎作りに投資をしている。恵庭市は大学と専門学校で4000人が集まる。図書館や体育施設等々それぞれが本格化している。

- ③市民サッカーのまちとしては勿論だが、陸上その他スポーツで連携を深め、日本を代表する選手を輩出のために行政もより一層の力を入れるべきと感じた。
- ④現在スポーツ少年団との交流が行われているようだが、本市のサッカーと絡め、夏場のスポーツ合宿等で誘致する等の展開ができれば面白いと感じた。



屋内競技施設



陸上福島千里選手 トレーニング風景

- ⑤本市の強みであるお茶や玉露、てん茶などを、流通経路に乗せるため、本市の茶業関係者の産業交流が効果的だと思う。
- ⑥藤枝市とは「災害時相互応援協定都市」を既に締結しているが、「友好都市」としての「交流と繋がり」は求められるところである。
- ⑦広大な土地面積を持ちつつも、多くの市民がコンパクトにまとまっており、市民の行政参画体制の水準が高い。

4) その他（感想、意見）

- ①自衛隊の補助金や北海道という広大な土地やその他特異性があるものと思うが、農業、商業、工業、スポーツなど全てにおいて計画的に進めることが出来ている。
- ②市民・企業・子供たちが参加して市民参画型のまちづくりを構築することが最も大事だということが再認識できた良い研修であった。
- ③恵庭市の子育て支援やこども広場事業は、人口規模の違いがあることは否めないが、かゆいところに手が届く施策となっている。
- ④花のまちづくりにおいても、市民が積極的であることで成り立っている。どの事業をとっても、良い刺激となった。
- ⑤今後恵庭市との交流に当たっては、行政のみならず、農業、商工業、学校、市民団体など、多くの人が関わることのできる仕組み作りが必要となると思う。
- ⑥札幌に近くベットタウンとしては、好条件かもしれない。また自衛隊の存在は大きいと思う。
- ⑦オープンガーデンオーナーが50軒と多く有るが、やはりマナーが大きな問題であると思う。